

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 神理学園 認定こども園 神理幼稚園

令和5年3月31日

1. 本園の教育目標

- ・心身共に健康な子ども
- ・他への思いやりのある子ども
- ・いろいろな事に興味を持ち、自分らしさを発揮できる子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・各リーダーを中心に、園内研修をしたり、職員会議等で意見交換を行ったりし、園の特色を活かしながら、保育の質を高めていく。
(園内の魅力や特色を再度見直す)
- ・保護者への保育の周知方法や、家庭との連携方法を見直し、家庭と園とで協力して、園児の豊かな園生活の充実を図る。(クラス日より、メール配信をうまく活用する)

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	自然環境を活かした遊びや活動を計画的に実践する	B	自然への興味関心を高められるよう、季節によってさまざまな場所へ散歩に行ったり遊んだりできるように計画していった。又、自然物を活かした制作や絵画活動も実施できた。しかし行事の関係等で、補助につく職員を確保できなかった期間があり、もっと柔軟で自由に遊べるような人員配置が求められる。
2	栽培を通して食への興味関心を高める	A	畑の土作りから栽培活動までを通して体験したり、その作物を使って調理活動を楽しんだり、調理室と連携を図り、食育活動を充実させることができた。本年度から取り組んだ、絵本に出てくるメニューを提供する「絵本給食」は特に人気で、日頃苦しい食材でも喜んで食べたり、この給食日を楽しみにしたり、保護者からも反響が良かった。家庭でも野菜が食べられるようになり、給食を毎日楽しみにしているとの声が多かった。給食室のInstagramで写真や作り方も紹介するようにした。
3	保護者への保育等の周知	B	クラス新聞をカラー印刷にし、写真を多く載せることで、以前より子ども達の様子が伝わるようになった。その中で、文章を読みやすくする工夫や、写真の見やすさや構成力なども求められるが、他クラスのクラス新聞を参考にするなどして、努力した。今後は、園や担任の想いやねらいを、もっと伝えながら、タイムリーに子ども達の様子や園での活動を伝えていきたい。

評価 (A・・・十分に成果あり B・・・成果あり C・・・少し成果あり D・・・成果なし)

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	目標を達成すべく、取り組んできたことに対しては、十分な成果がでたように思う。子どもの姿や保護者からの反応でも成果を感じることができた。今後は、全職員がより意識して取り組むことができるよう、より具体的な目標を立て、振り返りを行い、職員同士でも取り組みの工夫や意識を高め合う関係性があると更に保育の質が高まるだろう。自園の良さや特徴・魅力を、職員自身がしっかり理解し、それを子ども達や保護者に、日々の保育を通して伝えていけるよう意識することを再確認した。

5. 今後取り組む課題

	評価項目	具体的な取り組み方法
1	室内環境（遊び・玩具）の特性や意義への理解を深め、充実させる。	「環境を通して保育する」ことは自園の特徴の一つである。環境の一つ、室内環境に焦点をあて、子ども達の姿や発達を踏まえ、遊びの計画を立て実践していく中で、遊びの持つ力や意義、玩具の特性等を十分理解して環境を構成できるようにする。又、季節を感じる環境（自然）を構成することで、豊かな感性を刺激する。 自園の保育の方法や想いを職員一人ひとりが十分理解しながら子ども達と関わられるように、園内研修を充実させる。
2	保護者へ遊びの大切さや面白さを伝えていく。	子ども達が園での遊びを十分楽しめるように、遊びの計画をするとともに、その内容やねらい、子ども達の遊ぶ様子を伝える。（クラス新聞・HP・Instagram・メール配信等） 又、遊びを通して保育をする自園の方法や、その大切さを保護者にも理解していただき、幼児期に必要な経験や育ちを支えていく。
3	防災についての意識を高め、安全管理の充実を図る。	火災・地震・水害・防犯等に関する「安全管理マニュアル」の見直しを行い、全職員が把握して実践できるように園内研修を充実させる。又、保護者や地域とも連携を図る。 AEDの研修も引き続き実施し、全職員の知識・技術を高める。

6. 学校関係者評価委員会の評価

恵まれた自然環境を生かし、四季折々の行事や活動を行い、クラス便りやSNS等でその様子を知ることができた。どのような思いで活動を行っているかが書かれていたりすることで、園の考え方を知ることが出来、家庭でも子どもとの過ごし方を考えるきっかけとなることもあった。

食育活動についても、SNS等を通じてテーマとなった絵本が紹介されていたり、下準備を手伝う子どもの様子が紹介されていたりと、子ども達が給食に興味をもてるよう工夫がされている様子が伝わってきた。畑で作物を育てる体験もなかなか家庭で気軽にできることではないので、子ども達にとって貴重な体験であると感じた。

子どもから伝わってくる幼稚園の様子だけではわかりかねる部分も多いので、手紙等で詳細を知らせて頂けるのはありがたかった。又、普段あまり話す機会がない先生の思いが綴られた手紙も、担任以外の先生の思いを知ることができてとても良かった。

未だコロナ禍ではあったが、コロナ禍でできなかった園の活動や行事が徐々にできるようになってきたので、子ども達には、しんり幼稚園でしか味わえないかけがえのないひと時をもっと多く体験して、心の栄養となることを期待する。

委員会実施日 令和5年3月31日

学校関係者評価委員
学校関係者評価委員

印
印